

# 阿倍高進路通信 3年 vol.1

令和6年4月16日  
進路指導室

## ☆76期進学実績

	国公立	私大	短大	看護専	他専門	公務員	就職	浪人他
人数	4	185	8	16	36	3	1	10
割合	1.5%	70%	3%	6%	14%	1%	0.4%	4%

国公立大学は難易度が高く、狭き門ですので、4名という結果になりました。多くの卒業生は私大に進学し、約8割の人は摂神追桃以上の難関・中堅私大に入学しました。阿倍高の特徴でもある看護専門、四大看護学部への進学も多くありました。

### 〈主な進学先〉

大阪公立大1 和歌山大2 高知工科大1 同志社大1 立命館大2 関西学院大2  
 関西大17 近畿大23 甲南大4 龍谷大8 同志社女子大1 京都女子大1 武庫川女子大7  
 関西外大5 大阪経済大24 大阪工業大2 畿央大8 大和大12 森ノ宮医療大4  
 大阪医療センター附属看護2 大阪労災看護2 松下看護1 近大看護専門1 警察病院看護3  
 〈公務員〉大阪府1 大阪府警1 大阪府消防1

## ☆進路希望調査

進路希望調査の結果です。同級生は卒業後の進路をどう考えているのでしょうか。上段に今回の結果、下段に2年生の時にに行った結果を載せてあります。

	国公立	私大	短大	看護専	他専門	公務員	就職	未定
今回	18	212	4	4	31	1	1	2
2年次	21	196	8	4	29	0	3	3

大きな変動がなく、2年秋にはしっかり進路を意識できていたのが分かりました。国公立大学の難しさが理解でき、若干私大に流れたようです。

### 〈希望者の多い学校 TOP5〉

1位	近畿大	75
2位	関西大	40
3位	龍谷大	7
3位	大阪公立大	7
5位	追手門学院大	6
5位	大阪経済大	6
5位	甲南大	6

阿倍高生の特徴は、(良くも悪くも)大阪を出ないことです。したがって、人気の大学は近畿大&関西大です。進路実績からいうと、この人数は合格できませんが…今後実施される模試の結果を参考に、志望校を絞っていきましょう。通いやすさ以外にも大学の特色をしっかり調べ、自分に合った学校を探ることが大切です。経済的な制約がなければ、近畿圏まで視野を広げてみてはどうでしょうか。

## ☆大学入学共通テストについて

現時点で、共通テストを受験すると回答した人は47名でした。(昨年度は43名出願)未定が103名と多く、共通テストがどのようなものか理解されていないようです。国公立大学を目指す人は必須のテストですが、私大を目指す人にも恩恵があります。メリット、デメリットは以下の通りです。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験料が安い</li> <li>・国公立大が受験できる</li> <li>・私大の共通テスト利用、共通テスト併用方式が受験できる(1, 2教科で8割程度の高得点が見込める場合、私大でも通用する)</li> <li>・難易度のブレが少なく、点数が予想しやすい(共通テスト模試が活用できる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国公立の二次試験や私大の試験と出題形式が異なるため、教科によって別の対策が必要であり、慣れが必要</li> <li>・(国公立大)文系でも理系でも4~5教科まんべんなく高得点が必要(全体で6割を超えないと使い物にならないが、阿倍高生の平均は4割程度)</li> </ul>

**私大の利用、併用での合格実績は関関同立近クラスではほとんどありません。**受験機会が増えますが対策が必要であり、平日3時間、休日8時間程度の学習が苦でない人におすすめます。

## ☆進路相談 進路希望調査にあった質問に回答していきます。悩んだら進路指導室へ!

- ・関大の指定校が狙えるか  
⇒大学が提示する条件をクリアしていることはもちろんですが、関大や近大は人気があるため、校内選考のハードルが非常に高いです。
- ・まだ学部について迷っているのですがどうしたらいいのでしょうか  
⇒文系学部では受験科目が変わらないことが多いので、出願までに絞っていきましょう。大学によっては学部の併願が可能です。
- ・塾の人に政経で受験したほうがいいと言われ迷っている。  
⇒戦略としてはありです。政経で受験できない大学がたくさんありますので注意してください。
- ・今は近大だが、模試の結果次第でいずれ関関同立を目指したい。  
⇒目標を高くもつことはいいことです。模試の結果を意識していることも、地に足をつけた、正しい方法です。
- ・やりたいことがだいたい決まっているが、どの学校にしたらいいか不明。
- ・まだ学部について迷っている  
⇒行く学校や学部で就ける仕事が決まることはあまりないです。特殊な資格が必要でないならば、興味のある学問分野で決めてはどうでしょうか。迷う時間はまだあります。

## ☆合格体験記（進路の手引き未掲載分）

### 自分に合う勉強法

【公募】甲南大学 経済学部 経済学科

僕は受験勉強を本格的に始めたのは3年の1学期末テスト後でした。3年の1学期までの成績が公募推薦に必要なため受験勉強をしつつ、学校のテスト勉強をしました。

英語と国語が受験で必要だった僕は英語のほうが特に苦手だったため最初はただひたすら単語を覚えることから始めました。単語を覚えれば英文などを訳すときある程度の理解ができるだろうと思い、時間があれば単語を見続けました。そのおかげで英語の実力が底上げされ、公募推薦の過去問の少ない甲南大学や問題傾向が変わった大和大学にも合格することができました。

次に国語の勉強法は文章を早く読み、理解できるように徹底しました。形式的な問題の解き方が苦手だったため、たくさん文章を読み、慣れていくしかありませんでした。初めは漫画など好きで文章の少ないもの、次に好きな小説、そして問題集や教科書の文章というふうに段階を上げていきました。そうすることでやる気は保ちつつ、自然と速読力・読解力が身につく、国語は得意科目になりました。

勉強時間は1日何時間！！と決めるのではなくその日のやる気や疲労感などで何ページまで！！という形で決めていました。理由としてはどれだけ勉強しても疲れていて頭に入らなかったり、やる気が出なくてボーっとしながら解いたら結局は身につかず時間の無駄になってしまうからです。実際、僕自身無理に勉強して成績が全く上がらなかったり、模試の判定もD判定だったり良いことはありませんでした。しかし、この勉強方法を始めた結果甲南大学に受かることができました。もちろん、やる気が全く出てこない、という時もありました。そんな時は周りの人が勉強している空間（塾や図書館など）に身を置きました。そうすることで刺激されたり、危機感を持って自然とやる気が出てきました。また、僕は夜遅くは絶対に勉強しないと決めていました。理由としては夜眠っている間に脳の情報は処理されますし、睡眠時間を削っても疲れがたまるだけでそこまで頭に入りらないからです。無理せず限界に挑むというくらいの意気込みが1番バランスがよかったです。

勉強において最も大切なことは何を勉強するのではなく、どのように勉強するかを決めることだと思いました。どこで勉強するのか、どのように勉強するのかなどまずはそんな簡単なところから始めていくのが重要です。

※合格体験記は本人の書いた文章をできるだけそのまま掲載しています。